

## 広報資料

資料提供
平成22年2月 1日(月)
高月観音の里歴史民俗資料館
担当：佐々木・久保寺
電話(直通)85-2273

### 高月観音の里歴史民俗資料館 『ギャラリートーク「オコナイ」』についてのお知らせ

高月観音の里歴史民俗資料館(館長 中島誠一)は、下記のとおり『ギャラリートーク「オコナイ」』を開催します。市民の皆様にご周知、よろしくお願いいたします。

#### 記

- 1.開催日時： 第1回 平成22年2月13日(土)午後1時30分～  
第2回 平成22年2月20日(土)午後1時30分～
- 2.会場： 高月観音の里歴史民俗資料館 2階展示室  
滋賀県長浜市高月町渡岸寺229番地  
TEL0749-85-2273(FAXとも)
- 3.聴講料： 入館料300円が必要です。  
事前申し込みは不要です。
- 4.講義内容： 湖北地方では、最も雪の多いこの時期に、村内の安全や五穀豊穡などを祈願する春迎いの伝統行事「オコナイ(神事)」が繰り広げられます。  
今回のギャラリートークでは、2月9日(火)に5年ぶりに鏡負い(カガミオイ)が登場する走落(はせおち)神社のオコナイをはじめ、各村で行われるバラエティに富んだ様々な儀礼を、現在展示中のオコナイ資料とともに紹介します。

講師：佐々木 悦也(当館 学芸員)

#### 【 オコナイ 】

オコナイは近畿・北陸・東海地方と広く分布していますが、その中心が湖北地方にあるといってもいいほどに、その内容・数ともに抜きんでいます。内容はバラエティに富み、同一のものはほとんどみられません。祈願する対象も、氏神さん・観音さん・薬師さん・地藏さん・不動さん・毘沙門さん・天神さん・稲荷さん等々さまざまで、一つの村(区)に日時のことなる複数の

オコナイを伝えるところもあります。

「オコナイ」とは本来、仏教における「修行」をあらわす言葉で、仏教行事の修正会・修二会と共通の性格をもち、また一方で「神事」とも書き、当屋（頭屋・塔屋）をうけて神饌を供え、後座人一同と直会をするといった他の神事と同様のもので、宮座の伝統も受け継がれています。

村落共同体では前年の収穫を感謝し、来るべき豊作を願う祭りは是非とも必要なものであり、そこに現世利益の機能を有する観音や薬師信仰が習合したものといえます。そしてこの儀礼が、湖北地方では村人自体の手によって守られてきたことに特色があります。

### 添付写真 3枚



3人そろったカガミオイ



雪の中の社参



展示室の様子